

小動物 ABR 測定システムのご紹介



mediford

A Member of PHC Group

メディフォード株式会社
創薬イノベーションセンター

小動物 ABR 測定システム

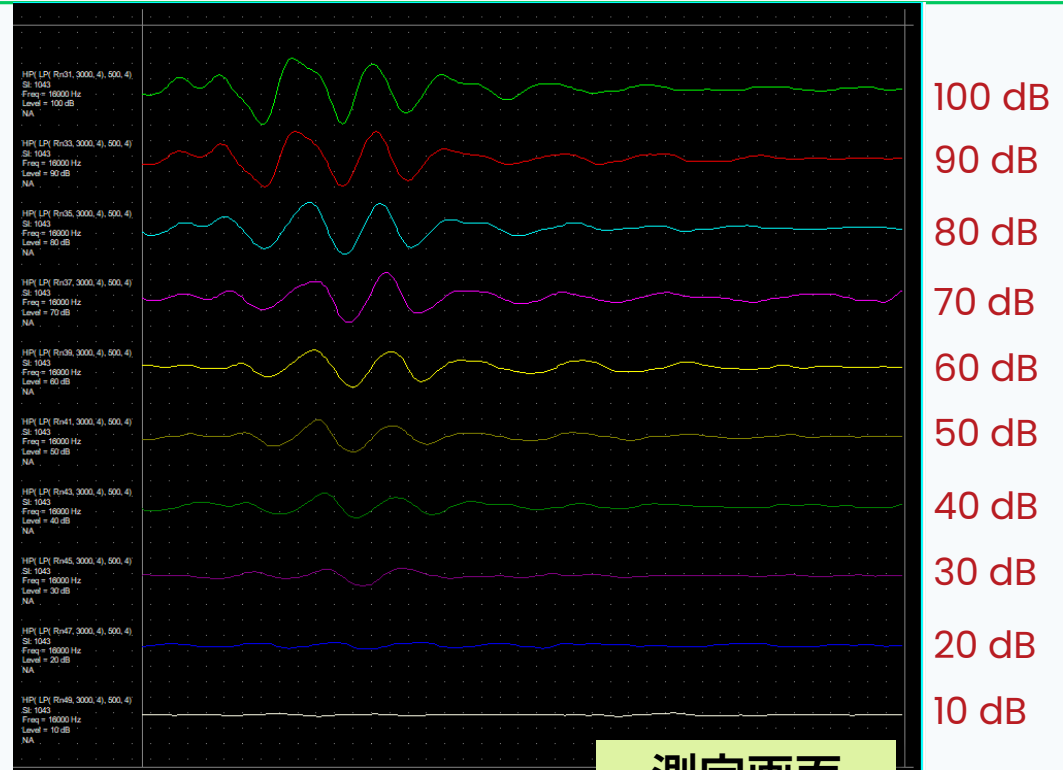


測定装置

スピーカー



メーカー：Tucker-Davis Technologies
代理店：バイオリサーチセンター株式会社



測定画面
(16 kHz)

- 動物の聴覚機能のスクリーニングに適している
- ABRは振幅は小さいが再現性が良好
- 睡眠の深度や意識レベルの影響がほぼ無い
(臨床検査として広く用いられている)

聴性脳幹反応（Auditory Brainstem Response：ABR）とは

蝸牛から下丘に至る聴覚路で誘発された反応で、振幅は小さいが再現性が良好で睡眠の深度や意識レベルの影響なども認められないことから臨床検査として広く用いられている。

音刺激を与えて頭皮上より誘発電位を記録すると、刺激後の時間の経過とともに末梢および中枢の聴覚路で誘発された種々の電位が記録され、最初の10msecに見られるのが聴性脳幹反応（ABR）である。

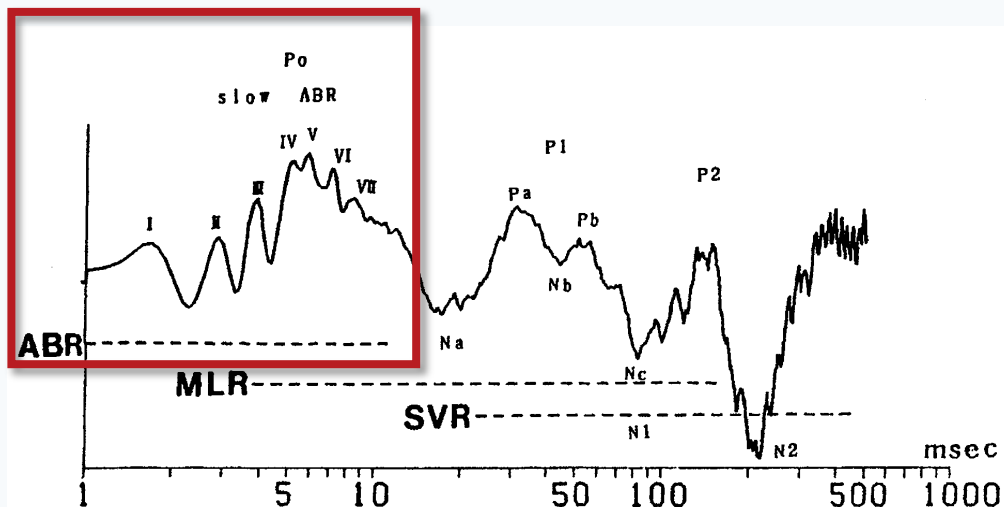


図1 対数時間軸表示による聴性誘発反応の連続記録
(市川ら (1983)¹⁾より引用)。

現在検討中の内容

➤ 薬剤性難聴モデル

薬剤（シスプラチン）を反復投与し、
投与から一定期間経過後に難聴を評価

➤ 早発性難聴モデル

DBA/2Jマウスを用いて背景データを取得

➤ 加齢性難聴モデル

C57BL/6Jマウスを用いて背景データを取得

※上記以外の難聴モデルをご希望の場合も、
お気軽にご相談ください。